



## 7月15日～8月15日は「見直し摘果強化運動」

今年は結実量が少ない傾向にあった事から、仕上げ摘果作業は順調に進んでいます。しかし、結実量の少ない年は仕上げ摘果を加減し、「過着果」傾向になりがちです。現在りんごの肥大は概ね順調に推移していますが、成らせすぎは今年りんご品質低下と来年の健全な花芽形成を阻害します。仕上げ摘果を終えた園地でも随時、見直し摘果を行い適正着果量に近づけましょう。

また、着果量が少ないなどで作業を早めに終えた方は、「りんご1果当りの価値」を高めるよう積極的に有袋栽培へ取り組みましょう。

### 1. りんごの生態 (7/1 現在)

全品種とも肥大は平年並～やや上回っており、概ね順調に推移しております。(cm)

品種 ／調査地点	つがる	ジョナ	王林	ふじ	ひろさきふじ	トキ
藤崎	5.0	4.8	4.2	4.0	5.1	4.6
和徳	5.1	5.0	4.3	4.4	-	-
JA管内平年	4.5	4.6	4.2	4.0	4.3	4.2

### 2. 薬剤散布 → ハダニの予察は早めに行いましょう!

今年はナミハダニの他、リンゴハダニの発生も見られています。昨年からの越冬密度が高かったことが原因と思われるが、防除暦では例年の発生時期と薬剤の特性に合わせて計画しているため、殺ダニ剤の散布タイミングと防除暦が合わない場合もあります。予察をしっかりと行い密度が高まる前に散布を行いましょう。

散布回数	散布時期	対象病害虫	基準薬剤及び調合順序	1000ℓ当りの薬量
8 7月上旬 500L/10a	7/2頃～	斑点落葉病・黒星病・炭そ病・褐斑病 モモンクイガ・アブラムシ類 ハダニ類	オキシンドー(水) 1,200倍 サイハロン(水) 2,000倍 カルマシ 770倍	1袋(835g) 1袋(500g) 1袋(1.3kg)
9 7月半ば 500L/10a	7/17頃～	斑点落葉病・黒星病・炭そ病・褐斑病 モモンクイガ・リンゴコカクモシハダニ	オキシラン(水) 500倍 トップジンM(水) 1,500倍 フェノックス(F) 4,000倍 カルマシ 770倍	2袋(2kg) 2袋(666g) 1本(250ml) 1袋(1.3kg)
10 8月上旬 500L/10a	8/1頃～	褐斑病・炭そ病・すす点・すす斑病 モモンクイガ・クワコナカイガラ アブラムシ類・ハダニ類	ダイパワー(水) 1,000倍 バリアード(顆水) 4,000倍 コロマイト(乳) 1,000倍	1袋(1kg) 1袋(250g) 2本(1ℓ)

散布終了!

### 3. 「有袋栽培」は袋かけ前の見直し摘果を徹底しましょう!

仕上げ摘果を終えた園地でも、肥大が進むと着果量の多い樹が目立ってきます。特に有袋栽培では、袋をかけ終えた後の摘果は難しいため、見直し摘果を徹底してから袋掛けを行うようにしましょう。(袋かけは7月中旬までに終わるようにしましょう)

また、早生種の収穫まで約2ヵ月となったため、見直し摘果は早生種の「つがる」や「きおう」を最優先で終わるようにしましょう。

成らせすぎ



適正



今年はサビ果や果形の悪い果実が多いから、きちんと見直して「良い果形のりんご」を残そう!  
ふじの結実量が少ない人は、有袋栽培にすることで「1果当たりの価値」を高めよう!



#### 《摘果する果実》

- 花そうの弱いもの(葉が少ないなど)、果台の長いもの、副梢の無いもの。
- 肥大が劣るもの、果形が悪いもの、サビが強いもの。
- 逆さ実や寄りかかっている果実。